

# (5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

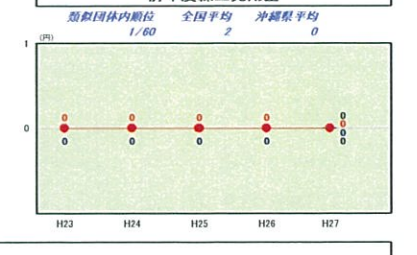
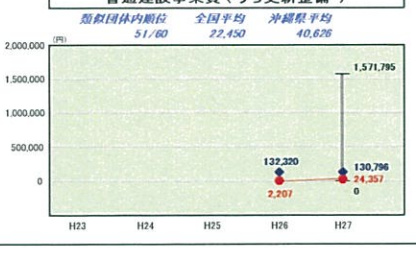
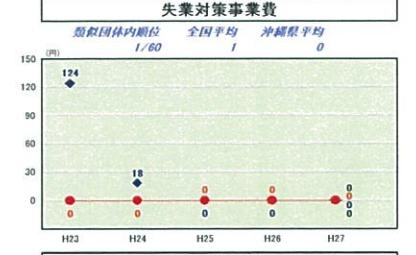
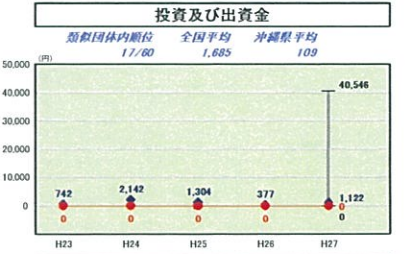
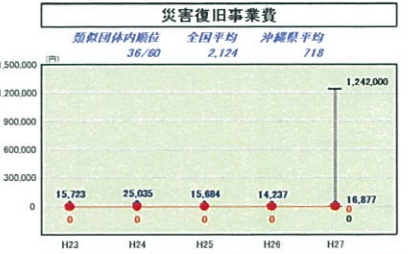
平成27年度

沖縄県粟国村

人口	734	人(H28.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	730	人(H28.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	7.65	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	8.7	%
歳入総額	3,154,363	千円	将来負担比率	57.6	%
歳出総額	2,915,263	千円	市町村類型	H23 1-2 H24 1-2 H25 1-2	
実質収支	231,247	千円	(年度毎)	H26 1-2 H27 1-2	
標準財政規模	678,401	千円			
地方債現在高	1,543,256	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



**性質別歳出の分析概**  
 性質別歳出の主な増額等要因は、普通建設事業費の大幅な増の要因は、平成26年度より継続事業の小中学校普通建設費の増が主な要因である。補助費等については、観光振興を図る観点から平成21年度より観光協会への補助金の増、物件費等については、沖縄振興特別推進交付金事業の委託料等による増である。各事業に伴う増額等が主な要因であるが、今後公共事業の実施については、優先順位を定め経費の削減等に取り組む必要がある。また、維持補修費については、村営住宅の維持補修費の増が主な要因であり、今後増加傾向にあるが、事業計画を定め優先取り決めて、実施する必要がある。繰出金については、平成26年、平成27年度道路事業への一般会計からの繰出金の減、また、簡易水道事業については、公債費の減に伴う繰出金の減が主な要因である。今後は、経営管理計画を定め、健全な財政運営に取り組んで行く必要がある。